

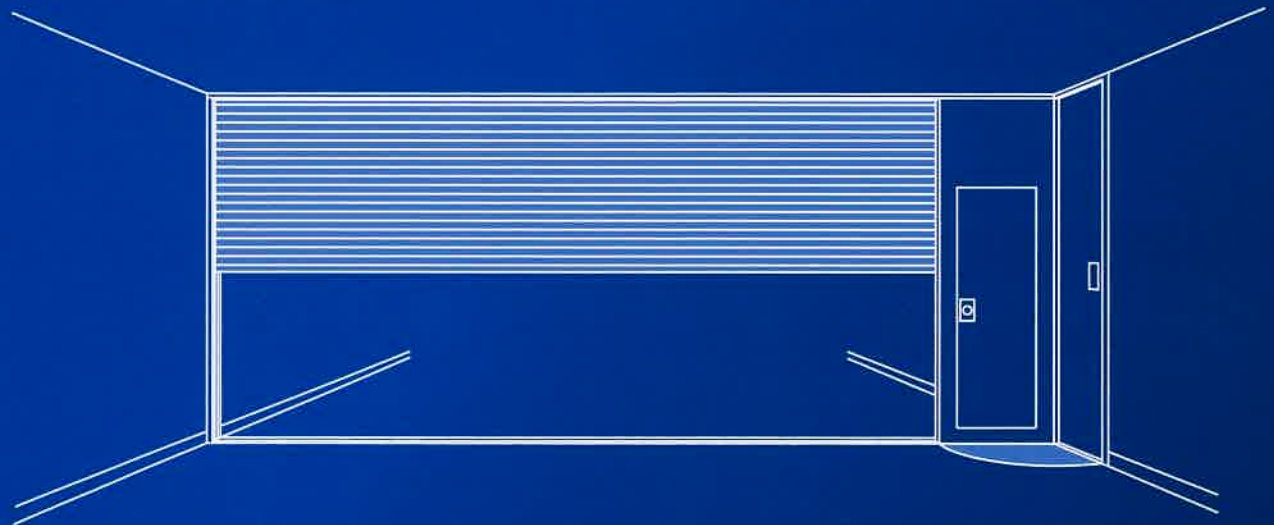
国土交通省大臣認定取得

CAS-0274

防火・防煙
オマオープン

袖扉(避難扉)

連動シャッター



OMATA
OMATA



小俣シャッター工業株式会社

防火・防煙性能と機能を持つ

「袖扉（避難扉）連動シャッター：オマオープン」

を採用することで、階段室・エスカレーター乗降口等の避難扉が必要な防火・防煙区画に、

固定柱をなくした空間設計が可能になりました。

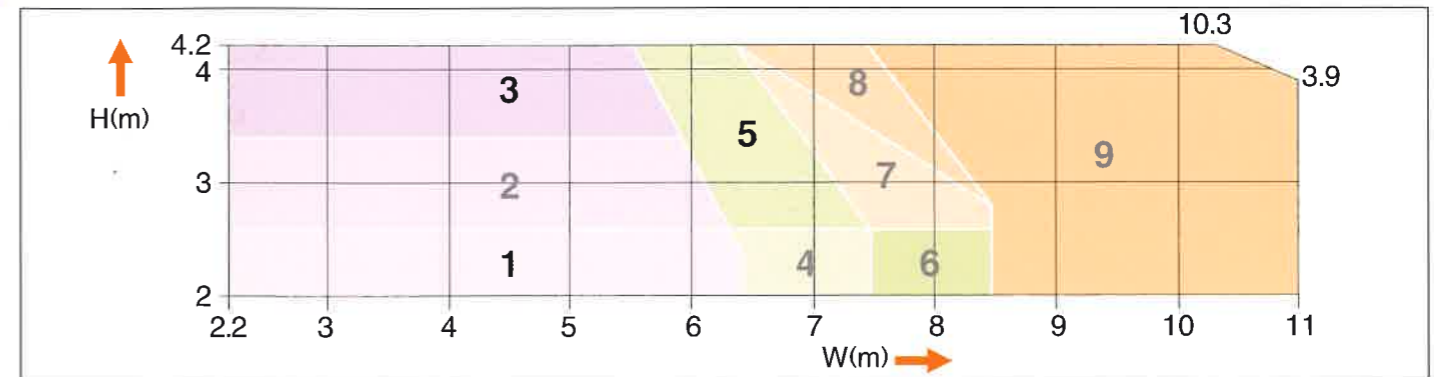
これにより、限られたスペースの有効利用と、より自由な空間デザインが可能になります。

シャッターには危害防止装置が設置されます。昇降機の昇降路の防火区画に使用できます。(国土交通大臣認定:CAS-0319)

(袖扉の収納状態からの回転角度は90°・180°の2種類から選択出来ます。)

両袖扉タイプの製品が新しく追加になりました(CAS-0402)

設定範囲



※開口高さ3.6mを超える場合の袖扉厚さは、74mmとします。

寸法表

範囲	A	B	C	h	D1	D2	S	開閉機
1	485	355	570	325	155	110	60	ES(S)-1C
2	515	385	600	340	155	110	60	ES(S)-2C
3	585	430	645	375	155	110	60	"
4	515	385	600	340	155	125	75	"
5	615	430	645	405	165	125	75	ES(S)-4C
6	515	385	600	340	170	140	90	"
7	615	435	660	405	170	140	90	"
8	615	435	660	405	200	160	90	ES(S)-8C
9	615	435	660	405	200	160	90	"

DT 設計範囲	W	2200mm~11000mm
	H	2000mm~4200mm
	DW	900mm~1200mm
	DW1	750mm~850mm
	DW2	970mm~1270mm
DT	60mm~74mm	

動作フロー

1. 通常時

シャッターは、天井内に収納され、袖扉（避難扉付）は、戸袋に収納されています。

2. 扉閉鎖

火災信号を受けると扉自動閉鎖装置が作動し、袖扉は回転閉鎖します。

3. シャッター閉鎖

袖扉閉鎖後、シャッター用自動閉鎖装置が作動し、開閉機のブレーキを開放しシャッターは自重降下します。

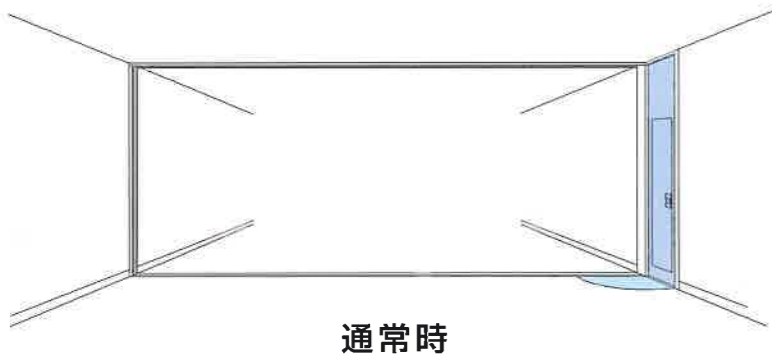
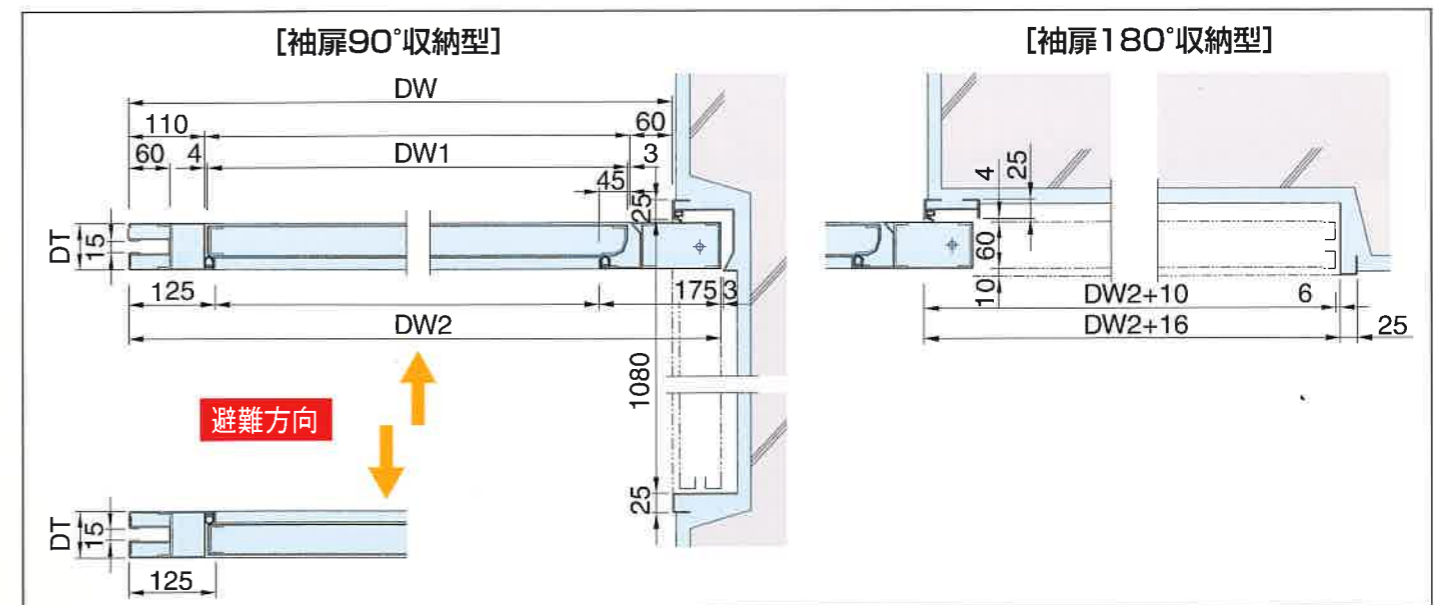
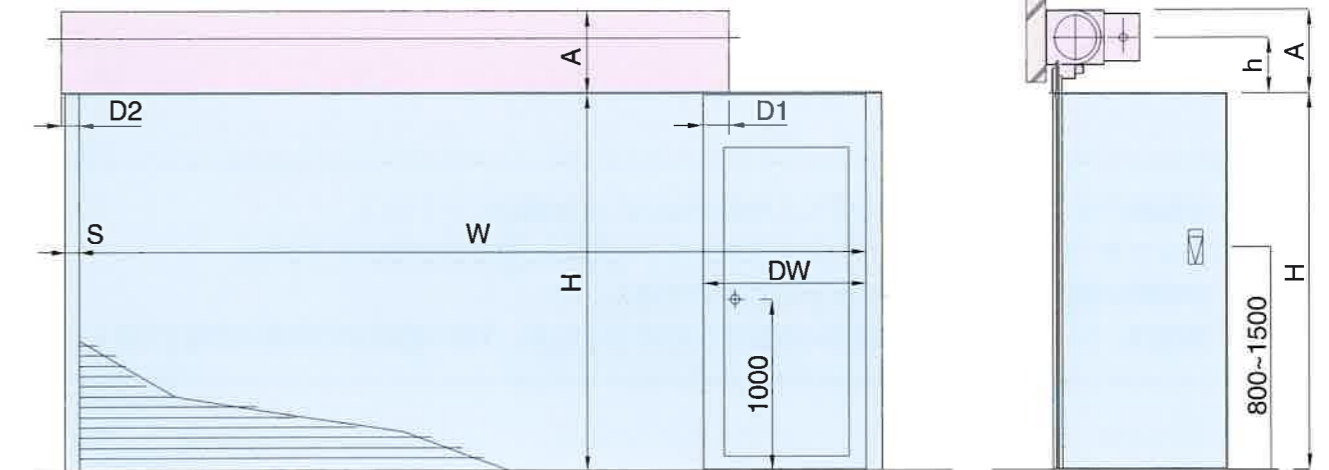
4. 復旧

シャッターを押しボタンスイッチの操作により電動（または手動ハンドル操作）にて天井内に収納した後、袖扉の上部ロックをはずし、袖扉を手で押し戸袋に収納します。

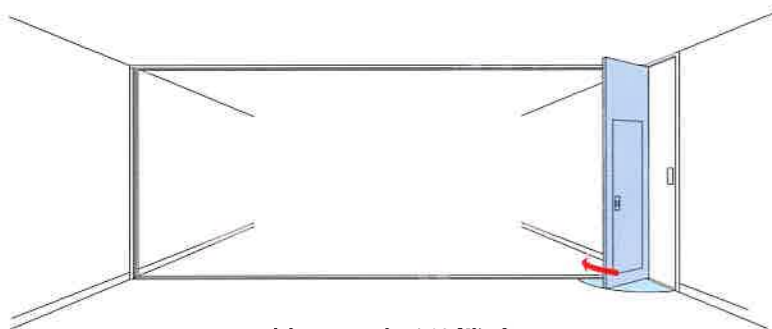
手動操作

扉の回転部及びシャッターの降下ライン上に人や物がいないことを確認の上、袖扉のケースハンドルを手で引いてください。袖扉が閉鎖します。閉鎖確認後、シャッターの押しボタンスイッチの「閉」を押して下さい。シャッターが閉鎖します。

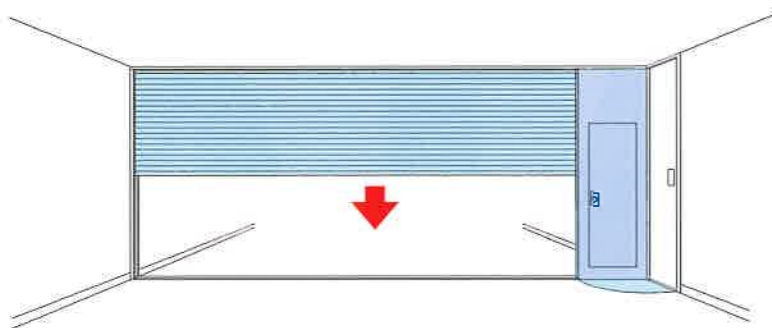
※シャッターは、袖扉が閉鎖していないと閉まりません。
シャッターを閉鎖する場合は、必ず袖扉を閉鎖してからして下さい。



通常時



袖扉回転閉鎖中



シャッター自動降下中